

新入部員紹介

New Face



北部地区
株式会社 山久

高山 有美子 さん

はじめまして、株式会社山久の高山と申します。
今年の1月に川越商工会議所青年部に入会させていただきました。
仕事は卸・小売業で、主に手芸用品、ソーイング・手編み材料、ラッピング資材、シルクフラワー（造花）を取り扱っております。本店は伊佐沼の近くの卸団地に、小売店は大正浪漫通りにございます。川越の本店を拠点にして、ネット販売・小売店を通じて全国に販売しています。私は普段本店におりますので、近くにお越しの際には是非お気軽にお立ち寄りください。
弊社は、川越で寛政5年（1793年）に糸屋として創業し、今年で224年になります。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物だと心より感謝しております。
これから川越商工会議所青年部の一員として、川越のために少しでもお役に立てるよう、努力していきたいと考えております。若輩者ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。



南部地区
日本生命保険相互会社
川越支社
笹原 啓佑 さん

はじめまして、日本生命川越支社の笹原啓佑と申します。
3月より入会させていただきました。
仕事は川越市を中心に個人様、法人様向けの生命保険及び損害保険の販売を行っております。業界はマイナス金利等の影響を受け、変化が多い時期です。ぜひ、保険の事での悩み相談、相続対策、生前贈与や節税など情報提供させていただきます。
また従業員様向けの年金セミナーなども実施しておりますので、ぜひお声掛け頂ければと思います。
また川越商工会議所青年部の一員としてこれからも川越の町の為に少しでもお役に立てればと思っております。まだまだ未熟者ですが、どうぞ宜しくお願いします。

PR TIME

株式会社
第一建築設計事務所
京野 弘一 さん

昨年の4月14日、熊本地方で震度7を観測した地震が発生し、さらに、4月16日に本震が発生しました。死者49人、住宅の被害棟数は11万件を超えています。一連の地震で犠牲になった49人の内、37人が家屋の倒壊による圧死で亡くなったそうです。近い将来必ず起きると予測される、巨大地震への備えが全国的な課題となる中、皆さんの住まいや事業所の耐震性はチェックされましたか？
耐震基準は次第に強化されてきました。1981年までの「旧耐震基準」、2000年までの「新耐震基準」、そして、さらに細かい規定を加えた、「最新基準」です。熊本地震を受けて日本建築学会が行った被害調査では、「旧耐震基準」と「新耐震基準」の時期に建てられた住宅には大きな被害が出ましたが、2000年以降の「最新基準」の住宅は比較的軽い被害にとどまったそうです。
住宅の耐震化は、震災時に死者数を減らす最も有効な策とされています。費用の問題で家全体を耐震化することができなくても、一部を部分耐震改修する方法や、「耐震シェルター」で身を守る方法もあります。川越市には、耐震診断と耐震改修への補助金制度が設けられていますし、市のHPには、「耐震事業が可能な建築士事務所も紹介されています。ご家族や、従業員の生命を守るため、是非専門家へご相談されることをおすすめします。



編集後記

今年も早いもので3か月が経ち、新年度がスタートしました。
情報発信室の担当副部長としてしっかりと職務を遂行したいと思っておりますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。
最近、つくづく大事だなと改めて思ったことを少しお話しさせていただきます。
人生とはやはり人との「出会い」とこれまでの色々な「体験」の積み重ねだと思えます。この「出会い」と「体験」の一つひとつを大事にしていかなければなりません。薄っぺらいですからね。より高く、崩れないように積んでいこうとするならばどうすればいいか？そんなことです。基礎（土台）をしっかりとすること！私がおもうに、時間はかかりますがピラミッドのように基礎（土台）を幅広くしっかりと固めて少しずつ高さを出していかなければ強くて崩れないように積み上げられないと思います。それが将来的にすごく大事なことでないでしょうか？私に時間がかわつてもしっかりとそんな積みみ方ができるよう、青年部の皆様との「出会い」と「体験」を大切にしていきたいと思えます。

川越商工会議所青年部 登録事業者数 213社

- (平成29年4月現在)
- 川越商工会議所青年部 会報誌
『鐘の音』第53号 平成29年4月18日発行
編集・発行責任者 川越商工会議所青年部 副部長 情報発信室 山口 貴正
 - 情報発信室
幹事：奥富 将之／牛村 淳一
石川 隆之／山田 義隆／松ヶ角 尚人
黒田 龍也／栗原 弘志

KANE-MO-NE

川越商工会議所青年部会報誌

鐘の音



青年部 KAWAGOE
川越商工会議所青年部とは
平成18年（2006年）5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推し進めていくことを念頭に活動しています。

肥沼 新部長 新年度あいさつ



新部長 肥沼 靖久

自由な発想こそ 青年部の役割

青年部は設立からこれまで、自由な発想でバラエティに富んだ交流会を48回実施し、活動の柱のひとつである小江戸川越ハーフマラソンに開催当初から携わってまいりました。そして、昨年設立10周年を迎え、全部員で取り組んだ記念事業では、「大 きな力」を実感し、青年部の新たな可能性を見出した部員も多かったのではないのでしょうか。区切りの年を終え、再スタート

川越に 集う人のために

時には「閉鎖的」であると言われる川越の土地柄ではありますが、青年部は事業所単位での入会を可能とし、経営者のみならず企業従業員のみなさんにも門戸を開いたことで会員数を伸ばしてきました。近い将来青年部がさらに発展しジャンプするためには、この川越の地において様々な立場で活躍される部員のみなさんにもっと川越を知っていたら、組織として多様な

意見を切り入れられる前向きで謙虚な姿勢で新たな可能性を確立していくべきだと考えます。そして、川越のまちの特徴は、意見を受け入れながら時代の先を見る先見性の高さであり、その空気がそれが部員の参加者意識の向上に寄与し、今以上に活気あふれる青年部になると確信しています。



新旧部長引継式での一幕

大切に するもの 温故知新

新しさや楽しさを追及するあまりに本来の方向性を見失った組織の例は幾多とあります。川越商工会議所青年部の設立にあたっては、多くの時間を割き、活動目的はもろろんのこと「何



新正副部長一同

終わりに

青年部の活力の源は各地区・室の活動であり、その活力が青年部全体のパワーとなって、地域経済の原動力となります。そして、地区や室活動を支える部員一人ひとりこそが青年部の宝であります。これからも青年部は、事業所の大小や立場を超えた信頼関係を礎に組織を盛り上げ、地域経済やまちの発展に尽力してまいります。部員の皆様、事業所の皆様、ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

青年部部长
肥沼 靖久

次回、第50回交流会は
6月28日(水)の予定です。



小谷野副会長



川合市長

10周年記念祝賀会 事業報告 企画開発室 イー・レンジャー株式会社 鈴木 覚



久保田記念誌部会長



島崎部長



原副会長



歴代部長ご一同



情報発信室 松ヶ角副部長 開会あいさつ

第17回 全体協議会事業報告 情報発信室 平野司法書士事務所 大野 伸一郎

平成29年2月17日会場ラ・ボア・ラクテ ベガにて第17回全体協議会が開催されました。企画当初より協議会後続けて青年部10周年記念祝賀会が開催されることになっていたので、例年2部制で行われていた内容を1部構成で開催する必要があり時間構成にかなり気を遣いました。情報発信室内で繰り返し会議を開催し、シナリオ、段取り等綿密に計画し、事前リハーサルも行い当日に挑みました。

全体協議会では、今期事業実績に関する件として第1号議案・次期事業計画案に関する件、第2号議案として次期予算案に関する件両議案とも承認多数で可決され、滞りなく閉会しました。次に各地区・室事業報告として東、西、南、北各地区及び企画開発室、情報発信室と事業報告を行いました。リハーサル時はパソコンデータが開けなかつたりと大変ご迷惑をおかけして

しまいました。当日はスムーズに行えました。例年では各地区の持ち時間は5分でしたが、今年は時間割の関係で3分となったにもかかわらず、各地区のご協力のおかげで時間オーバーすることもなく行えました。続けて次年度引継ぎ式が行われ、島崎青年部部長から肥沼次期青年部部長へと厳かに引継がれました。

表彰式では皆勤賞、VP、MVPの表彰が行われ、皆勤賞には15名の方が表彰され、VPには株式会社プラニクス石井有紀さん、株式会社櫻井印刷所櫻井良樹さん、東京キリンビバレッジサービス株式会社川越営業所岩田唯史さん3名が受賞され、MVPにはパートナーズ司法書



部長引継式

士事務所脇博喜さんが受賞されました。皆さまおめでとうございました。最後に今年度で卒業される先輩方12名中10名の方が出席され卒業式が行われました。島崎部長の送辞に対し、徳栄産業株式会社岩堀聡司さんの答辞が感動的でした。本来でしたら卒業される方々皆様にご挨拶いただきたかったのですが、時間の関係でできなかったことには大変申し訳なかったとおもいます。ですが、短い時間でもしっかりと内容の卒業式が行われた良い会だったと思います。

全体的に駆け足で行われた感はありましたが、時間どおり行えたことは皆様のご協力のおかげとはいえ情報発信室としては良くできたと思います。現体制で最後の事業でこのような会ができたことは本当にうれしく思いました。

去る平成29年2月17日(金)、企画開発室にて担当させていたいただきました、10周年記念祝賀会がラ・ボア・ラクテにて執り行われました。9月に開催された10周年記念事業「小江戸縁結び」に続き、青年部設立10周年の大きな節目をお祝いするにあたり、青年部初めての試みとして、来賓に川合善明川越市長をお招きし、厳粛かつ盛大に挙行させていただきました。記念祝賀会は柿沼記念事業部会長の開会の挨拶を封切りに、島崎部長の主催者挨拶、川合市長、立原会頭、横田初代部長の来賓挨拶に続き、小谷野副会長に乾杯のご発声と、川越を代表する諸先輩方より、お祝いはもちろん、ねぎらいや激励のお言葉をたくさんいただくなか、現役員のみなさんが身の引き締まる思いで耳を傾けていたのがとても印象的でした。しばしの歓談後、当日配布されました10周年記念誌について久保田記念誌部会長より案内をいただきましたが、青年部10年のあゆみと200社を超える事業所の情報を取り纏める苦労は並大抵のものではなかったと推察いたしますので、みなさまに



祝賀会 柿沼記念事業部会長 あいさつ

は永久保存版として末永くご利用いただければ幸いです。その後、青年部10周年を振り返る映像を御覧いただきましたが、第1回の交流会から現在に至るまでの映像の数々は、青年部歴代卒業者のみなさまには懐かしく、現役員のみなさまには新鮮に映ったようでした。新旧の垣根を超えてたくさんの方の顔をいただく事ができました。そんな良い流れのなか、卒業生から現役員への激励と称し、インタビュー形式で卒業生のみなさんのテーブルに突撃し、その模様をプロジェクターで生中継させていただきましたが、さすがは百戦錬磨の卒業生のみなさん、事前打ち合わせなしの



写真左より、VP：石井有紀さん、櫻井良樹さん、岩田唯史さん MVP：脇博喜さん



皆勤賞の皆様



MVP 脇博喜さん

今年度ご卒業された皆様



イー・レンジャー 鈴木 覚

サブライズ演出にも関わらず、ウィットに富んだ軽妙なトークで予想以上に場を盛り上げていただき、会場のボルテージは最高潮に。ここで満を持して、肥沼次期部長と次期副部長にご登壇いただき、次期の展望と抱負を伺う事ができましたが、肥沼次期部長の力強い決心と、脇を固める副部長の頼もしさを目の当たりにし、肥沼新体制による青年部の更なる飛躍を期待せずにはいられません。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、永菌実行委員長の大締めにより10周年記念祝賀会すべてのプログラムが成功裏に終えられました。ご報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。